

平成 29 年 1 月 18 日

専門委員会開催報告

専門委員会名	「第 4 世代ナトリウム冷却高速炉の安全設計ガイドライン」研究専門委員会第 9 回会合
開催日時	平成 29 年 1 月 10 日(火) 14:00 ~ 16:30
開催場所	日本原子力発電株式会社本店 2 階 第 1、2 会議室
参加人数	委員 27 名（山口主査、守田幹事、島川幹事、山野幹事、可児委員、齊藤委員、坂場委員、糸岡委員、浅野委員、西村委員、大本委員、小竹委員、与能本委員、中井委員、上出委員、高田委員、久保委員、岡野委員、戸田委員、原委員）、常時参加者 7 名
議 事	<p>1. SDG/SDG 概況 岡野委員から SDG/SDG の検討状況や、関連会合間の位置づけが紹介された。SDC は国際レビューが反映されつつあり、現在は IAEA SSR 2/1 改訂に伴う反映方針を検討している。安全アプローチ SDG は国際レビューが開始されており、レビュー状況については議題 3 で議論する。系統別 SDG は本委員会の前回会合で説明し、その後で各委員からレビューいただいた。その反映案を議題 2 で説明する。SDC/SDG に関連した国際的な会合として、8 カ国からの規制機関・開発機関が参加する OECD/NEA GSAR 会合や、GIF-IAEA ナトリウム冷却高速炉安全ワークショップなどが紹介され、議論がなされた。</p> <p>2. 系統別 SDG コメントへの対応状況 久保委員から本委員会における系統別 SDG についての前回までの主な議論の紹介及び前回委員会にて募集した各委員からのコメントとその対応案について説明がなされ、議論がなされた。</p> <p>3. 安全アプローチ SDG に対する IAEA コメント対応案 久保委員から安全アプローチ SDG に対する IAEA からのコメントについて紹介がなされ、それぞれのコメントに対する対応案について議論がなされた。</p> <p>4. SDG 研究専門委員会報告書作成スケジュール 山野幹事から本委員会の報告書の作成方針について、中間報告書で作成したものをアップデートして取りまとめ、次回委員会でドラフトを提示することが説明された。また、担当分担及び作成スケジュールについて了解を得た。</p> <p>5. その他 今後の予定として、次回第 10 回委員会を 2017 年 8 月 10 日の 13 時半からとした。また、9 月の原子力学会秋の大会にて企画セッションを設け、委員会の活動報告を行う。10 月以降には活動をまとめた解説記事を原子力学会誌に投稿する。</p>
備 考	

平成 28 年 9 月 7 日

専門委員会開催報告

専門委員会名	「第 4 世代ナトリウム冷却高速炉の安全設計ガイドライン」研究専門委員会第 8 回会合
開催日時	平成 28 年 8 月 31 日(水) 13:30 ~ 16:00
開催場所	日本原子力発電株式会社本店 2 階 第 1、2 会議室
参加人数	委員 20 名（山口主査、守田幹事、島川幹事、山野幹事、可児委員、堺委員、坂場委員、糸岡委員、浅野委員、遠藤委員、大本委員、小竹委員、与能本委員、中井委員、上出委員、高田委員、久保委員、岡野委員、戸田委員、原委員）、常時参加者 8 名
議 事	<p>1. SDG/SDG 概況 岡野委員から、SDG/SDG の関連する国際会合及び国内委員会の関連性と最近の状況について紹介された。SDC はその改訂に向け、国際レビューの反映が進んでいる。また、議題 2 で扱う IAEA SSR 2/1(2016 年版)での改訂の趣旨を SDC に反映する方針の議論も進んでいる。安全アプローチ SDG 報告書は GIF での合意が 3 月末になされ、国際レビューが開始された状況にある。系統別 SDG は重点事項 14 項目に着目し検討を実施している。SDC/SDG に関連した国際的な会合として、8 カ国が参加する OECD/NEA GSAR 会合や、IAEA INPRO Dialogue 会合での SDC に関する議論について紹介された。</p> <p>2. IAEA SSR 2/1(2012.1)→Rev.1(2016.2)の主たる改訂点と GIF SFR-SDC への反映方針 岡野委員より軽水炉を対象とした安全要件である IAEA SSR 2/1 での改訂内容の説明、および改訂版を参照して改めて SDC で追加すべき事項の検討、さらに反映案の提案がなされ、議論がなされた。</p> <p>3. 系統別 SDG に関わる GIF 内議論と反映について 久保委員から、系統別 SDG について、検討の進め方やポイントとなる 14 項目 GIF での検討状況について説明がなされた。本委員会における系統別 SDG レポートに対するレビューとして、回答期限を 9 月 16 日として、資料 8-5 に対するコメント提示を各委員からいただくこととなった。レポートの概要とレビューの観点について説明がなされ、議論がなされた。</p> <p>4. 前回議論の反映について 岡野委員から、前回委員会で議論した系統別 SDG の資料に対していただいたコメントを反映したこと、系統別 SDG レポートに反映された旨が説明された。また、資料 8-4-1~8-4-3 の資料 8-5 への反映点について説明がなされた。</p> <p>5. 系統別 SDG の目次案とその内容 久保委員から、系統別 SDG について説明があり議論がなされた。</p> <p>6. 安全アプローチSDG報告書(邦版)の配付について 岡野委員から、GIF で 3 月末に承認された安全アプローチ SDG に関し、国内検討用の邦版を作成したことから委員会にて配布する旨が説明された。</p> <p>7. その他 次回第 9 回委員会は 2017 年 1 月 10 日 14 時からとすることとなった。</p>
備 考	